

## —講道館杯全日本柔道体重別選手権— 100kg 超級で岩尾選手が初優勝 73kg 級西岡選手は 3 位に



全日本柔道体重別選手権大会が 11 月 8 日から 2 日間にわたり千葉ポートアリーナ（千葉市）で開催され、男子 100kg 超級で京葉ガス柔道部の岩尾敬太選手が初優勝し、73kg 級に出場の西岡和志選手が 3 位になりました。

【上段写真】初優勝した岩尾選手（中央）  
=11 月 9 日、千葉ポートアリーナ



全日本柔道連盟主催の同大会が 2015 年世界柔道選手権の第 1 次選考会として行われ、男女それぞれ 7 階級で熱戦が繰り広げられました。

京葉ガス柔道部からは 4 階級に 6 人が出場し、このうち初日の男子 73kg 級で西岡選手が 3 位に、2 日目の 100kg 超級で岩尾選手が優勝しました。

100kg 超級には 32 選手が出場し、岩尾選手は 1 回戦で一本勝ちを収め、2 回戦では終盤に有効を奪って優勢勝ちしました。続く 3 回戦の準々決勝は大内刈りで 2 度の技ありを決め、合わせ技一本で勝利すると、初の決勝進出を懸け、準決勝で高橋和彦選手（新日鐵住金）と対戦。ここでは残り 1 分 55 秒に大内刈りで奪った有効のポイントを守り切り、優勢勝ちで駒を進めました。

決勝戦は、8 月の全日本実業柔道個人選手権を制し 3 連覇した西潟健太選手（旭化成）と戦いました。終盤までに 3 回の指導を取られる苦しい展開でしたが、残り 2 秒で大内刈りが決まって有効となり、初優勝を果たしました。

大会終了後にグランドスラム東京（12 月 5～7 日、東京体育館）の日本代表選手が発表され、京葉ガス柔道部からは岩尾選手と上川大樹選手が出場することになりました。



【中段】3 位の西岡選手      【下段】決勝の試合終了間際に大内刈りで有効を決める岩尾選手

